

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立小川高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。地域社会の変容や時代の要請を踏まえるとともに、学校に寄せられる期待に十分応え、伝統校としての学校の特色や強みを更に生かしたものとなるように具体的に検討していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。学校内外の環境分析などを的確に行って、中期的視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	「将来構想委員会」で学校評価のための総括の一次取りまとめを行っている。企画委員会の位置づけを明確にするとともに、学校運営の要として再定義するなど、組織体制の見直しを図り、学校評価の取組が組織的なものとなるように工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「進学選抜クラス」を中心に学力向上や進路開拓に向けた取組が進められ、具体的な成果も上がりつつある。評価項目を更新し、新たな目標に向けた取組を期待したいが、その際、方策の評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を踏まえた学校経営の方針を持ち、「将来構想委員会」や職員会議において、教職員の共通理解を図っている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めるとともに、更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。アンケートについては、同一質問を時系列的に把握するのみならず、結果内容により、時には問題分析的な質問を加えるなど工夫して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、PDCAのスパイラルアップを進めていただきたい。	
特記事項			